

# 農業振興普及課

## 新たな害虫の発生に注意

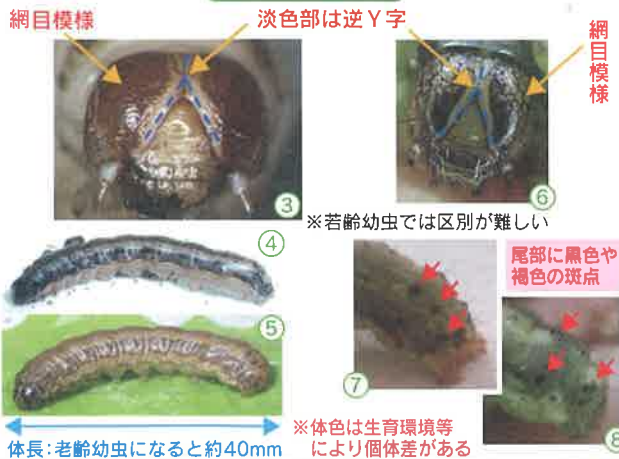
### 「ツマジロクサヨトウ」



①: 雄成虫  
②: 雌成虫

「ツマジロクサヨトウ」が、令和元年7月に国内で初めて鹿児島県の飼料用とうもろこしで発生が確認されました。その後、九州、本州、四国で分布が拡大しており、長崎県でも令和元年7月11日に発生が確認されました(五島では令和2年3月末現在、未発生)。本害虫は南北アメリカ、アフリカ、アジア(インド、中国、台湾、韓国、タイ等)に分布し、アフリカではとうもろこしが甚大な被害を受けています。また本害虫は、飛翔能力が高い、繁殖力が強い、多種類の植物を加害する)ことから、一度発生し定着すると防除が困難となりますので、早期発見・早期防除が必要です。五島にも海を渡って飛来することが十分考えられますので、注意をお願いします。なお、疑わしい害虫を発見した場合は、下記の「問合せ先」に至急、連絡をお願いします。

#### 幼虫の特徴



#### 食害する作物

飼料用とうもろこし、スイートコーン、水稲、ソルガム、さつまいも、野菜等  
(葉、茎、花、果実を加害)  
＜飼料用とうもろこしの被害状況＞



葉の食害痕

葉鞘部の食害痕、虫糞

①～⑤: 植物防疫所原図 ⑥～⑩: 長崎県病害虫防除所原図

# 春の農作業安全運動期間中

毎年、農作業中の事故により全国で300名前後、県内でも多い年で10名前後が亡くなっています。農耕トラクタ等の運転操作ミスにより田畑や用水路等へ転落が主な原因です。安全フレーム・キャブの無いトラクタで転倒・転落した場合、多くは死亡につながります。

農作業時や公道走行時は下記に留意のうえ、安全を心掛けましょう！

- ①安全キャブやフレーム付トラクターを使用しましょう。  
※安全フレームは倒さずに使いましょう。
- ②シートベルト及びヘルメットの着用を徹底しましょう。
- ③道路走行時は必ず左右のブレーキを連結しましょう。
- ④後続車に見えやすいよう「低速車マーク」や「反射板」を取り付けましょう。
- ⑤農業機械の日常的・定期的な点検・整備を行いましょう。  
※一定の条件のもとロータリー等を装着したまま公道走行が可能になりました。  
※一定要件のもと労災保険の特別加入ができます。  
※詳細は下記ホームページでご確認ください。

[https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s\\_kikaika/anzen/](https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/)  
また、資料等が必要な方はご連絡ください。

#### 安全キャブ



#### 安全フレーム



【問合せ先】  
五島振興局農業振興普及課  
TEL:0959(72)5115